

子育てなんでも相談室

Q 6歳の息子がおねしょをするようになりました。保育園でも失敗するようです。今年になって、夫婦とも仕事の内容や環境が変わって忙しく、バタバタしていますが、その影響もあるのでしょうか？ もうすぐ1年生だというのに、困っています。

A 今年になって、急におねしょをするようになったのですね。でも、それで一番困っているのはお子さんです。「6歳にもなっておねしょをするなんて……。ああ、恥ずかしい、どうしよう」。親も困りますが、本人が一番困っていることをまずは理解してやりましょう。

家ならともかく、園で失敗したときは、お子さんのプライドはズタズタになっています。家では、たとえ失敗しても、決して「またおねしょ？ もうすぐ1年生なのに」などと言わないでください。何でもないことのようにして、「あら～失敗しちゃったねえ」と笑って済ますくらいでいてほしいと思います。

おねしょをするようになった

私が受け持っていた4歳の女の子は、失敗するたびに親に叱られ、そこで思いついたのは、ぬれたパンツをタンスの後ろに隠すことでした。パンツが減り、家全体が臭ってきたので、お母さんが発見しました。そのお母さんには、失敗しても子供を叱らず、むしろ優しい対応をするよう助言すると、その子供はやがてしなくなりました。

ご夫婦ともにお仕事が大変そうですが、確かにその影響もあるかもしれません。「忙」という字は心を亡くすと書きますが、人は忙しいとき、本当に心をなくしたかのような行動を取ることがあります。赤ちゃんが生まれた途端、上の子供が赤ちゃん返りをしておねしょをすることがあるように、お子さんの場合も、何かのメッセージだったのかもしれない。

どんな症状が出たときも、子供に一番いい薬は愛情と安心感です。たくさん子供を褒め、「あなたが好きよ」というメッセージを今まで以上に送ってやってください。大丈夫です。どんなに忙しくてもできます。1回当たり10秒もかかりませんから。

(こどもコンサルタント 原坂一郎)